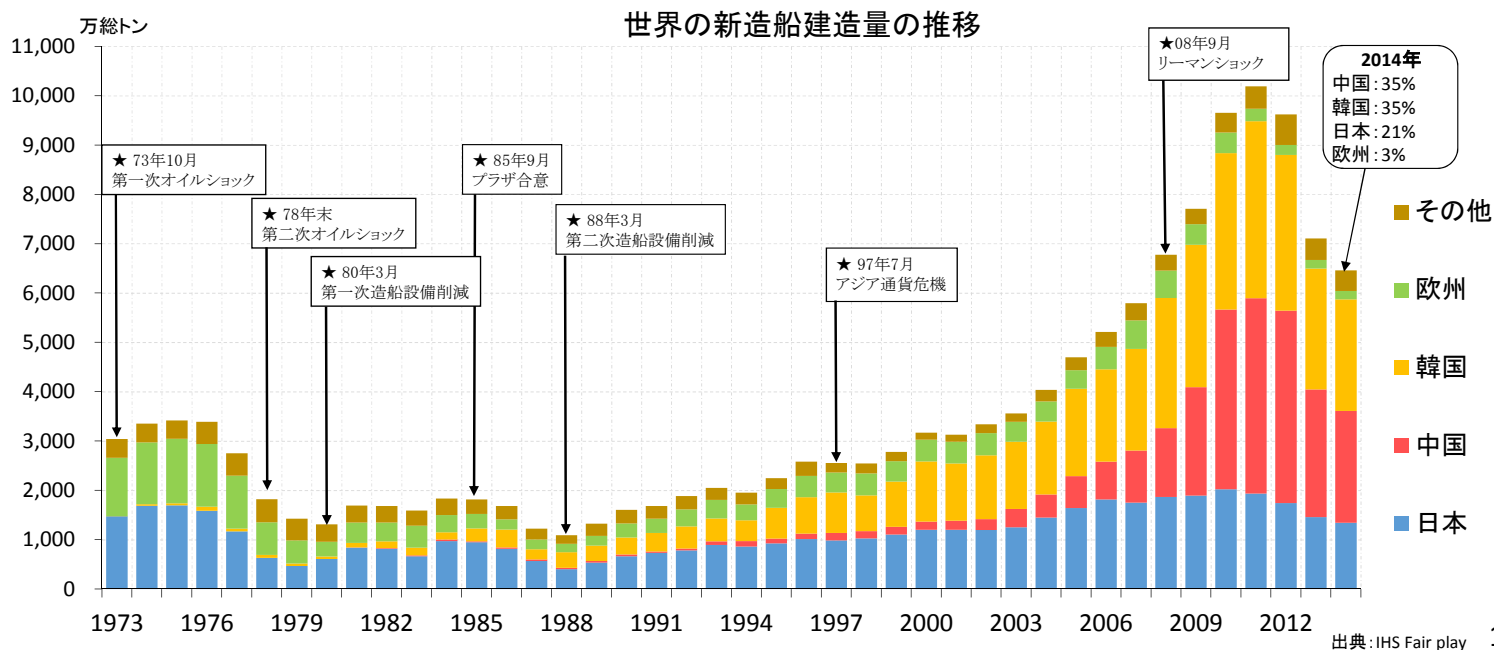


造船業の概況

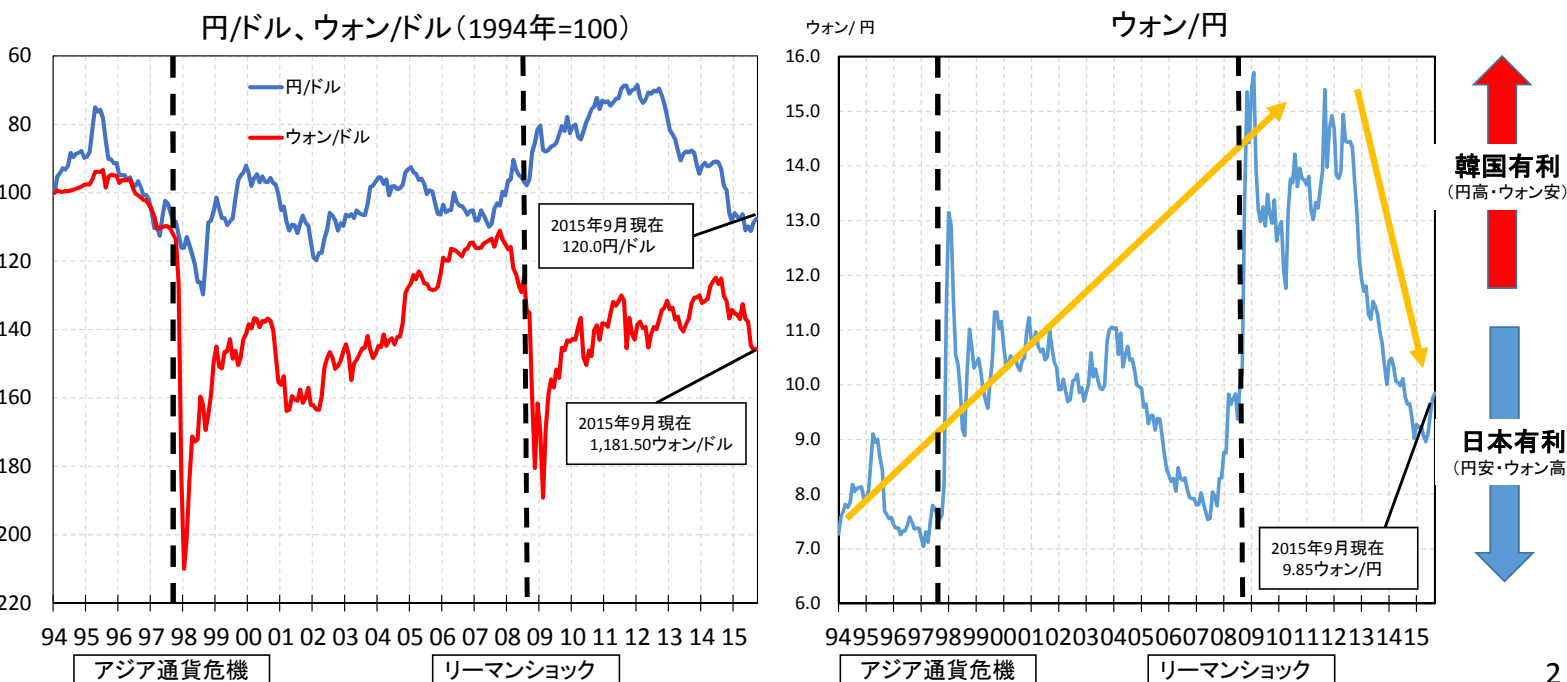
世界新造船市場(概観)

リーマンショック(2008年秋)後、世界の新造船受注量は激減し、建造(竣工)量はリーマンショック前の受注船がほぼ竣工した2011年をピークに大きく落ち込んだ。



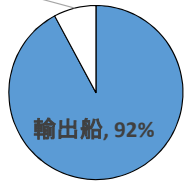
為替の推移

90~00年代は、円高・ウォン安の傾向であったが、2012年下期より大幅に円高是正が進み、リーマンショック(2008年10月)前の水準まで回復し、韓国との競争条件が改善。

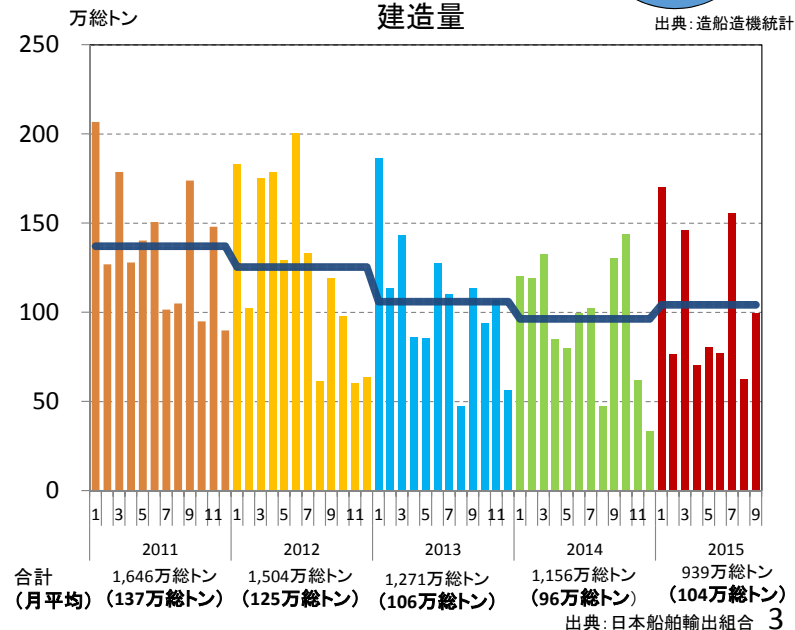
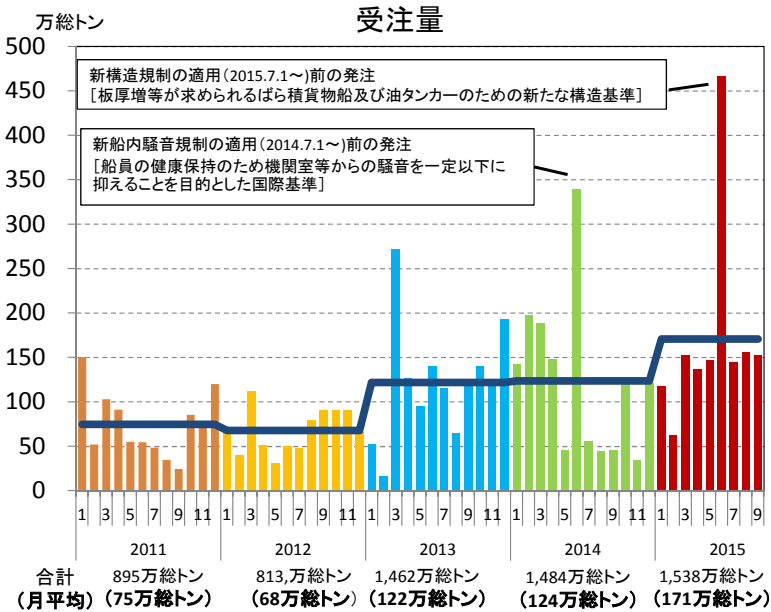


我が国の新造船輸出の動向

我が国の新造船輸出比率
国内船, 8% (2014年)

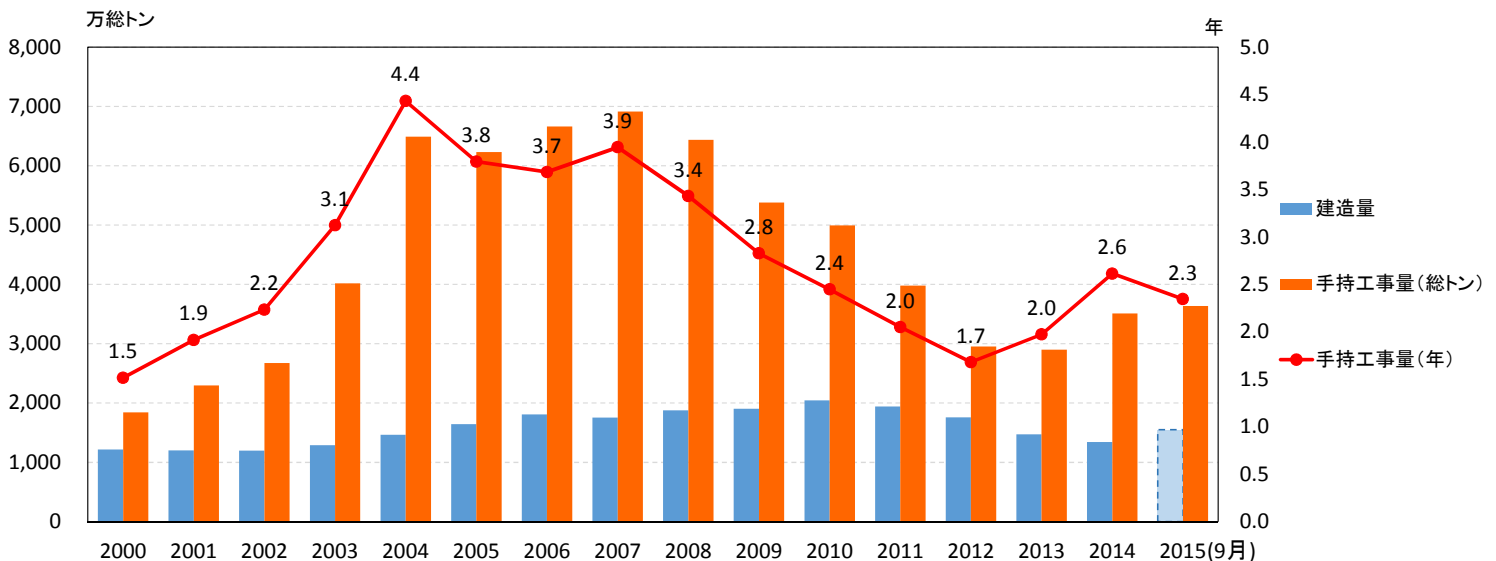


リーマンショック後、受注量は、大幅に落ち込んだが、2012年を底に増加傾向。
建造(竣工)量は、2013年以降の受注量の増加に伴い(※)、2014年を底に2015年から若干増加。
2015年7~9月は、月150万総トン前後の受注量に対し、建造量は、月平均100万総トンのペースで推移し、手持工事量は増加傾向。
※竣工は、受注後、2~4年後



我が国の建造量・手持工事量

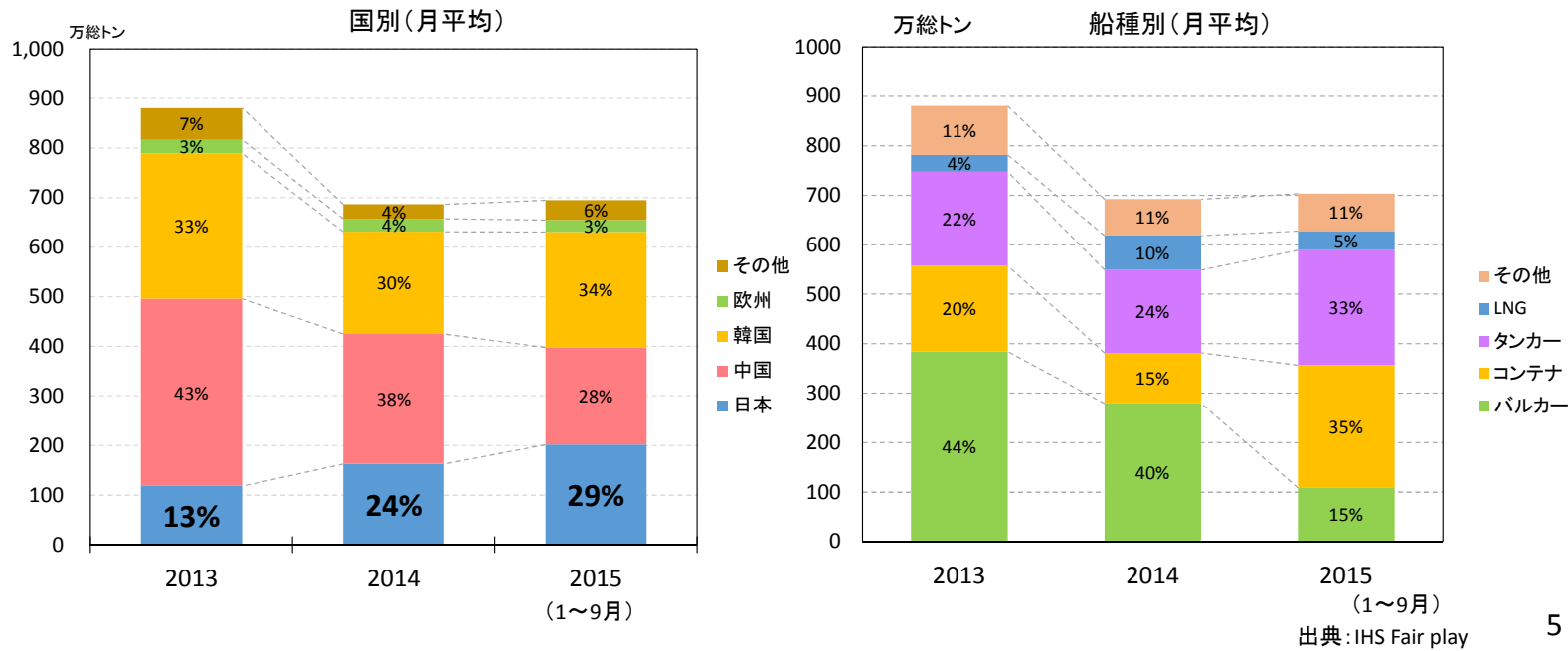
2013年を底に手持工事量は増加傾向(前年末比+3.6%、前々年末比+25.4%)にある。
手持工事量から推計すると、2015年の建造量は前年比15%の増加が見込まれる。



・建造量は、暦年(1月~12月)の実績(2015年は、1-9月の実績と10-12月の建造計画の合計)
・手持工事量(トン)は、各暦年末時点の値(2015年は9月末時点)
・手持工事量(年)は、手持工事量(トン)を同年の建造量で除したもの

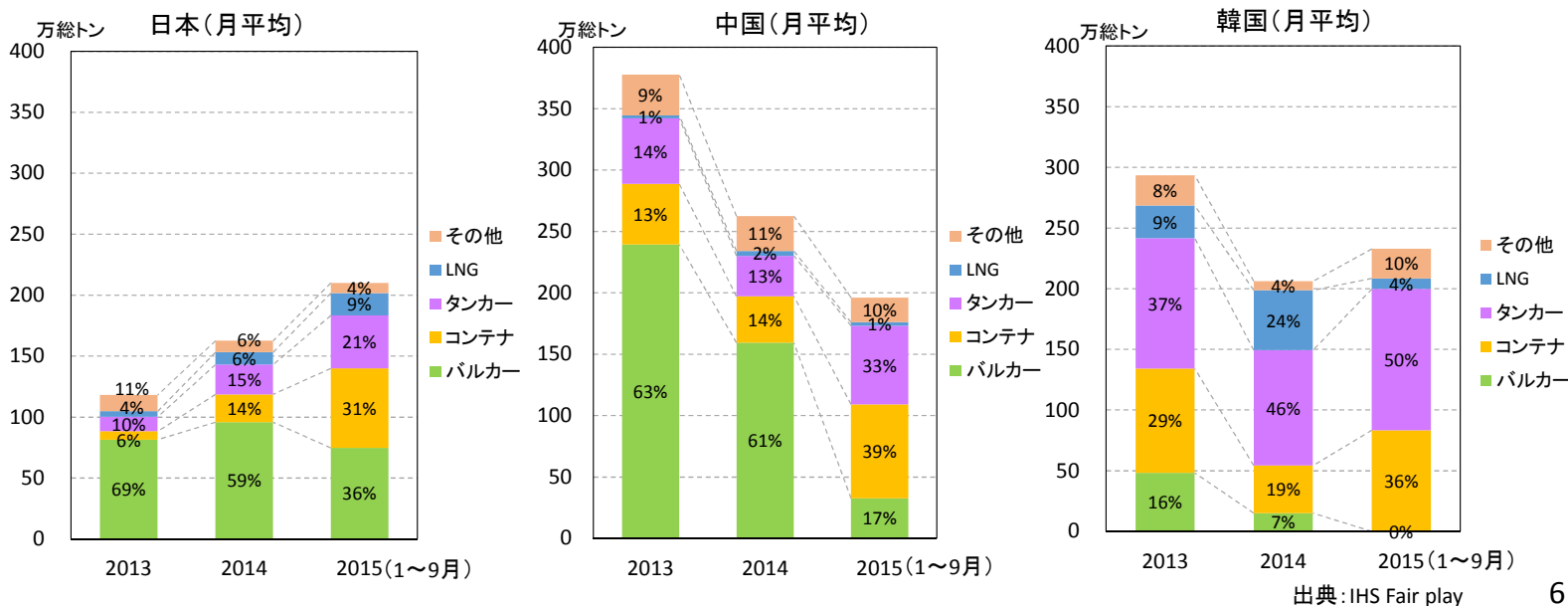
世界の造船受注量の推移

2015年1～9月の世界の受注ペースは、前年と同程度であるが、日本の受注ペースは、増加(前年比+24.0%)しており、韓国に次いで2位。
2015年バルカーの受注量が大幅に減少しているのに対し、タンカー、コンテナ船の受注量は増加。



日本・中国・韓国の受注量比較

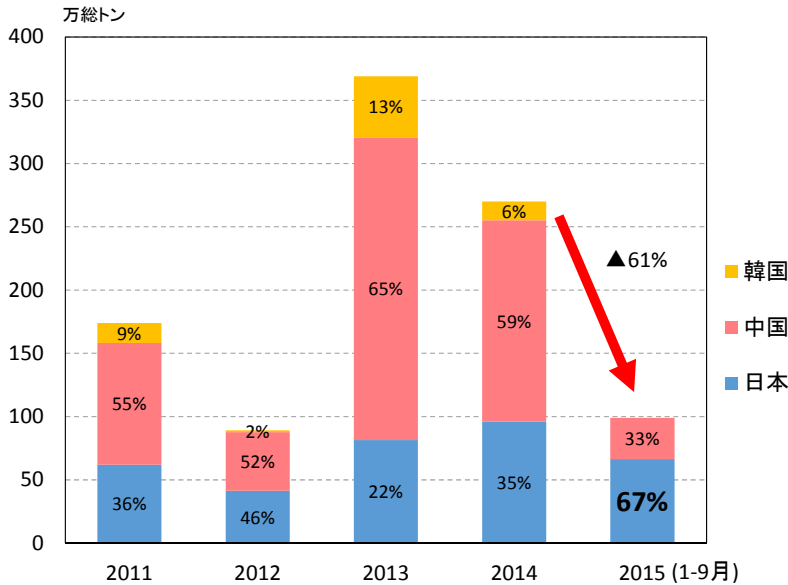
近年の日本・中国は、全受注量の過半数以上をバルカーが占めていたが、バルカー市況の低迷から2015年1～9月のバルカーの割合は過半数以下に減少。
韓国は、タンカー・コンテナの比率が高く、バルカーの受注は、近年減少傾向にあり、2015年の受注はゼロ。



バルカーの新造船市場の動向

2015年1～9月の世界のバルカー受注量は▲61%と大幅に減少しているが、我が国は一定の受注量を確保し、世界の受注シェアを67%まで拡大している。
 バルカー需要低迷の長期化を見据えバルカー主体の造船所は、タンカー、コンテナ船などの設計・営業を展開。

バルカー受注量の推移



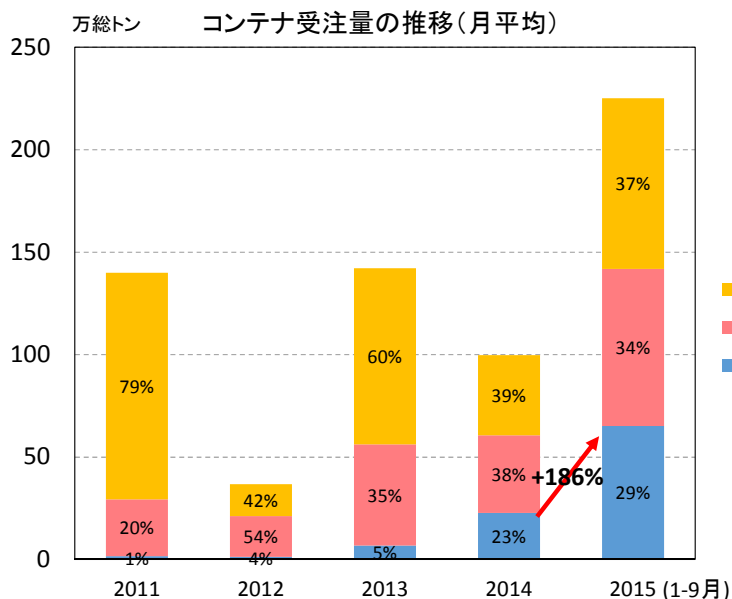
バルカー建造主体造船所の事業転換

- 大島造船所 フィーダーコンテナ船(3000TEU)を開発
- 常石造船 8年ぶりにアフラマックスタンカー建造、H29年後半から連続建造体制へ移行
- 名村造船 ハンディバルカー中心とした建造から得意とするアフラタンカーの受注獲得への切替
- 尾道造船 バルカー中心から得意とするプロダクトタンカーの受注獲得へ切替

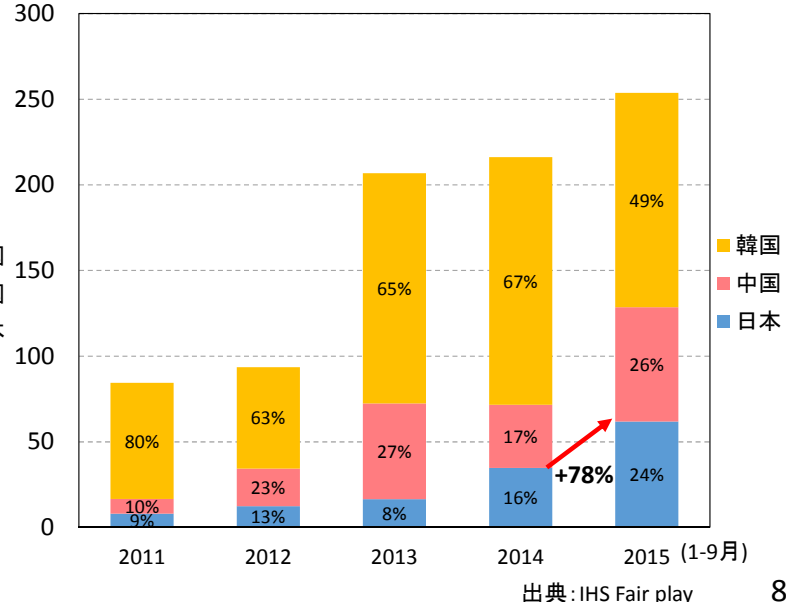
コンテナ船、タンカー市場の動向

バルカー受注の減少により、コンテナ船、タンカーの受注量が増加。
 我が国は、コンテナ船、タンカー共に受注量を増加(それぞれ+186%、+78%)させ、シェアを拡大。

コンテナ受注量の推移(月平均)

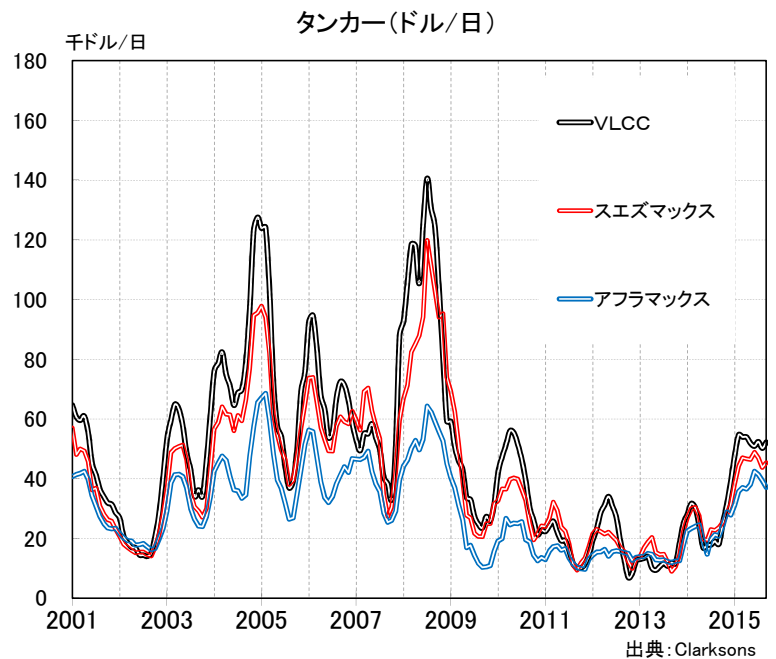
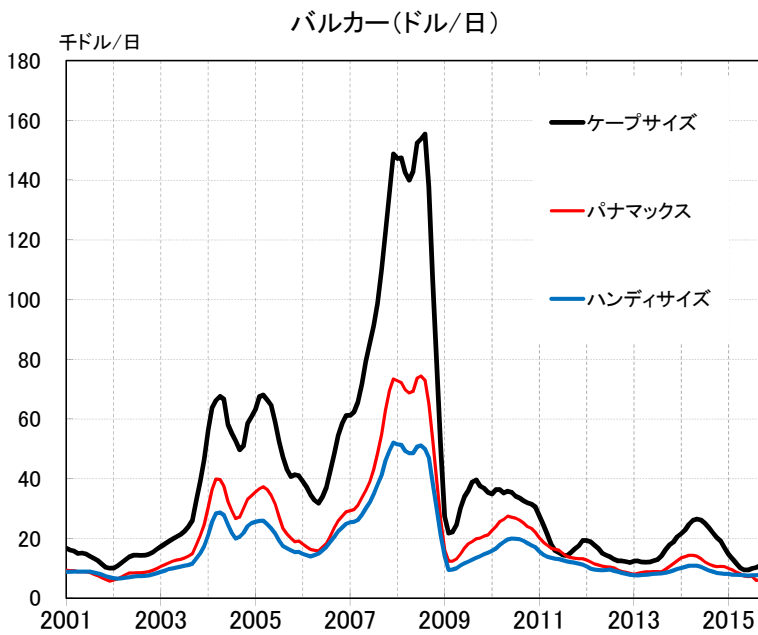


タンカー受注量の推移(月平均)



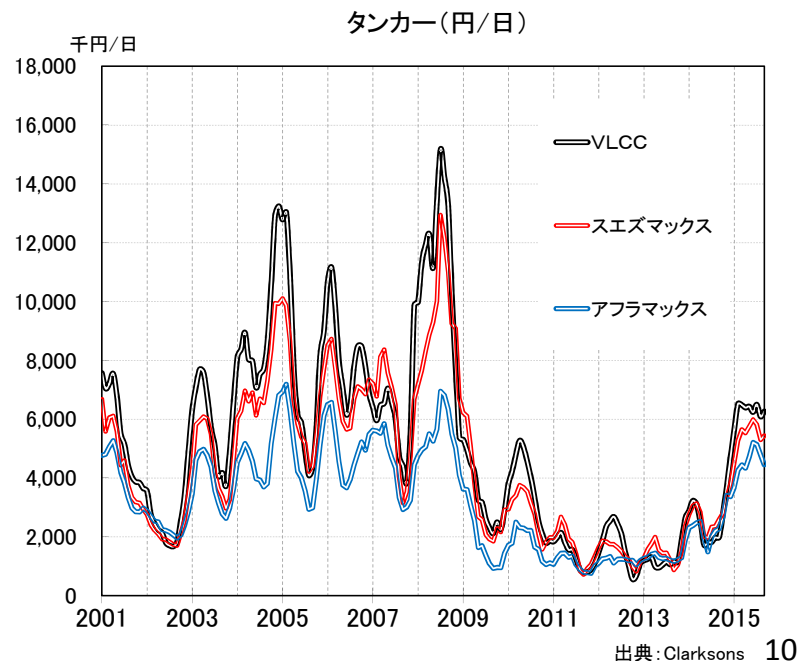
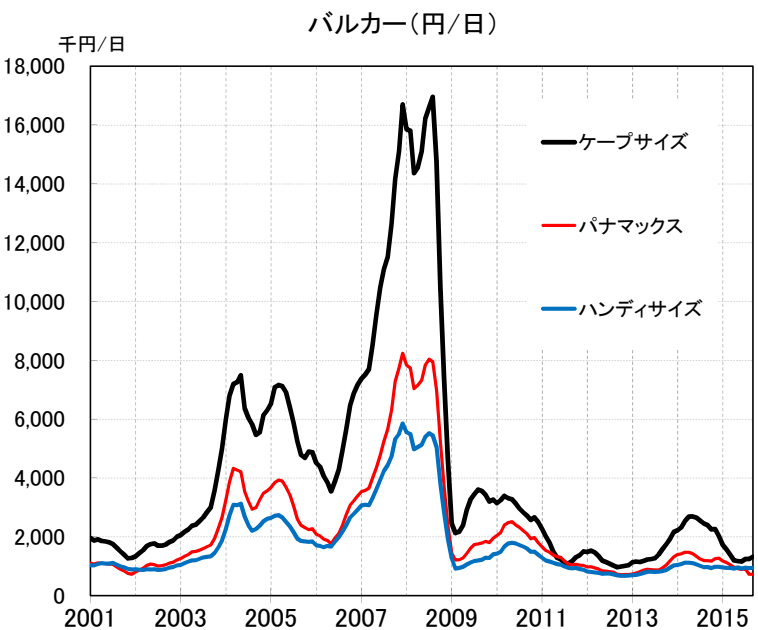
海上運賃(ドル)の推移

バルカーの海上運賃は、リーマンショック時に大幅に低下し、現在も低い水準が続いている。
タンカーの海上運賃は、2014年より上昇し、2015年以降は高止まり。



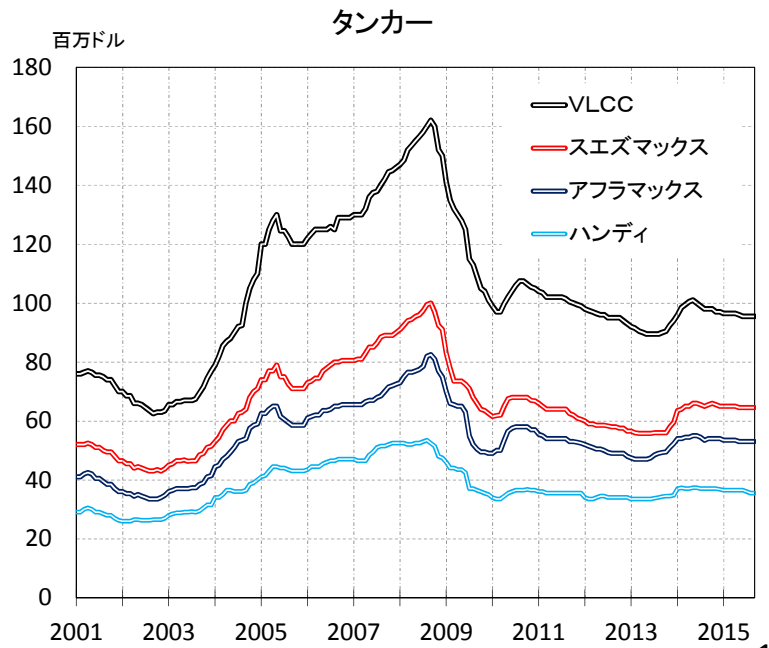
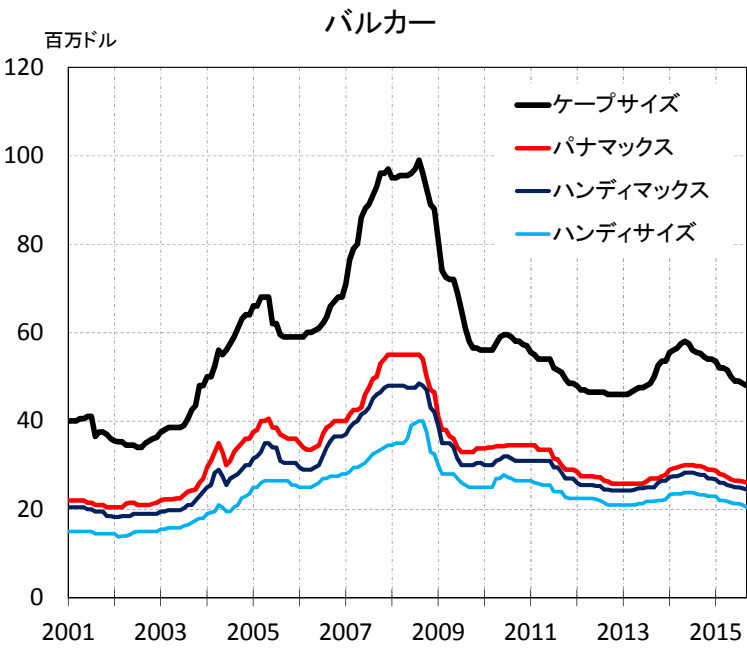
海上運賃(円換算)の推移

バルカーの海上運賃は、リーマンショック時に大幅に低下し、現在も低い水準が続いている。
タンカーの海上運賃は、2014年より上昇し、2015年以降は高止まり。



新造船受注船価(ドル)の推移

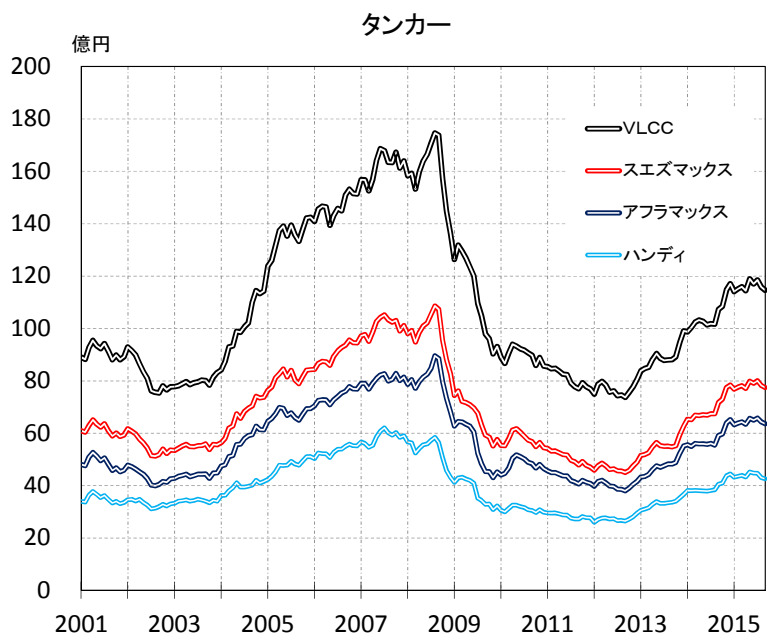
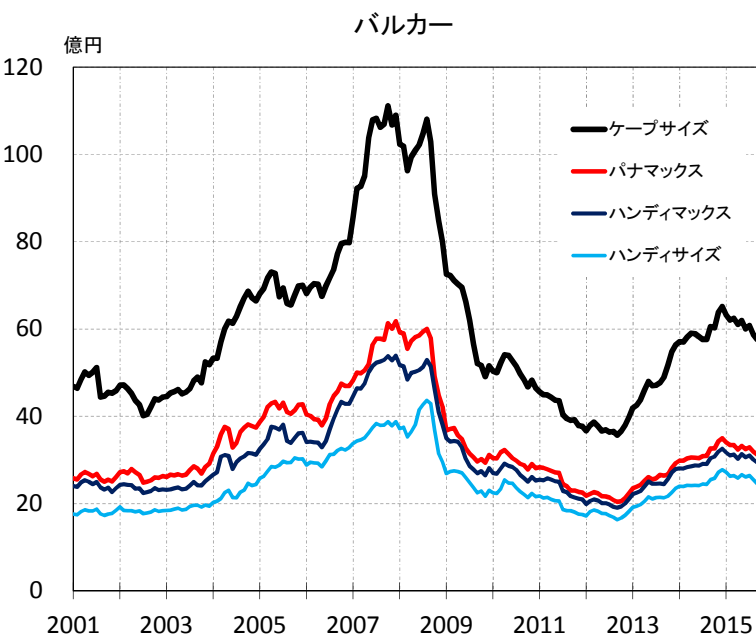
新造船価は、2013年から2014年央頃まで回復基調であったが、下期よりバルカーは下降傾向、タンカーはほぼ横ばいで推移。



出典: Clarksons 11

新造船受注船価(円換算)の推移

2012年下期からの円高是正により、円換算船価は、ドル船価と比べ、大きく改善。



出典: Clarksons 12